

# KALEIDOSCOPE another

2022年2月26日（土）18時30分～ 名古屋芸術大学 東キャンパス 2号館大アンサンブル室

## PROGRAM

1. 細井 博之      入り口の石  
Tenor Saxophone 所 克頼      Piano 菅原 拓馬
2. 石川 泰昭      Glitter of Garnets  
Remorse  
Fixed Media
3. 神原 颯大      Les éléments  
Piano 神原 颯大
4. 岩本 渡      The Busker  
Alto Saxophone 加藤 和也
- (休憩)
5. 原田 裕貴      Fiction II  
Tenor Saxophone 所 克頼
6. 牛島 安希子      Instan'stillation fixed media ver.  
Fixed Media
7. 水野 みか子      Foodchain ver.3  
Piano 堀 夏紀
8. 田中 範康      Sparkling in the Space X  
Flute 橋本 岳人      Cello 高木 俊彰

## 1. 入り口の石

すべての物体は移動の途中にあるんだ。地球も時間も概念も、愛も生命も信念も、正義も悪も、すべてのものごとは液状的で過渡的なものだ。ひとつの場所にひとつのフォルムで永遠に留まるものはない。宇宙そのものが巨大なクロネコ宅急便なんだ。

村上春樹「海辺のカフカ」より

Composer

**細井 博之** Hiroyuki HOSOI

---

名古屋芸術大学音楽学部卒業、愛知県立芸術大学大学院音楽研究科修了。

在学中よりセントラル愛知交響楽団、愛知室内オーケストラ、愛知県立芸術大学管弦楽団を始めソロや室内楽も含め様々な演奏家によって作品が演奏される。また、主に東海地方の演奏家によるコンサートのための編曲にも多数従事している。

最近では作曲家グループ「Inexplicable owl」に毎年参加し、主に室内楽作品を創出している。また、これまでに電子音響作品やインスタレーションの制作も行う一方で、近年はAI（機械学習）の研究開発の分野にも携わり、機械学習名古屋研究会に参加および発表している。

主な作品としてはピアノ協奏曲（修士作品）、チェロとピアノのためのソナタ、ヴァイオリンとピアノのためのソナタ「春」、チェロとピアノのための「鏡のなかの鏡」などがある。

名古屋芸術大学非常勤講師。

Saxophonist

**所 克頼** Katsuyori TOKORO

---

岐阜県出身。関高等学校卒業。名古屋芸術大学卒業。同大学定期演奏会、卒業演奏会出演。ヤマハ管楽器新人演奏会、岐阜県新人演奏会、岐阜市民芸術祭など出演。渡米し、インディアナ大学音楽学部パフォーマーディプロマ修了。帰国後、名古屋芸術大学大学院音楽研究科修了。

第6回横浜国際音楽コンクール第3位。第3回飛騨河合音楽コンクール第2位（1位なし）。

2009年よりリサイタルなど開催。

ファブリス・モレティ、ユージン・ルソー、ジョナサン・ヒルトン各氏のレッスンを受講。

これまでにサクソフォンを遠藤宏幸、雲井雅人、三日月孝、オーティス・マーフィーの各氏に師事。

現在、フリーのサクソフォン奏者としてソロ、無伴奏、室内楽、エレクトロニクスとの演奏や講師など東海地方を中心に活動。2021年8月初アルバム「祈り-pray-」（KTYTK001）をリリース。

デュオ・ピクニック、とかげ、クレセントカンパニー、ユニータ・デラ・サックス、妄想会議、竹林笹頼、竹森笹頼メンバー。

Pianist

**菅原 拓馬** Takuma SUGAWARA

---

宮城県出身。現在、愛知県を中心に作曲、編曲、演奏などの活動を行っている。

オーケストラ、室内楽、器楽、合唱や声楽からロックバンドに至る幅広いジャンルにおいて作曲、編曲および演奏を行うが、中でも2021年名古屋市電気文化会館において開催された「祈り～所克頼バリトンサクソフォン・リサイタル」において同氏およびピアニスト山内敦子氏によって初演された「Responsorium」が好評を博し、また、来る3月25日長久手市文化の家で開催予定であるサクソフォン奏者石川貴憲氏のリサイタルにおいてシュルホフ作曲「ホット・ソナタ」の共演を務めるなど、作曲、演奏両方面においてサクソフォンとの関わりが深い。

今回の作曲家細井博之氏とは愛知県立芸術大学大学院在学中からの旧知の友人であり、これまでに同氏の2作品の初演に演奏者として携わるほか、2011年及び2012年愛知県立芸術劇場において連続開催された新作演奏会「オセロ」の主要メンバーとして、共に企画・作品出品を行うなど関わりが深い。

本間雅夫、岡坂慶紀、北爪道夫各氏に作曲を師事。

## 2. Glitter of Garnets

笙の和音である合竹のうち「乞」を軸として、その中に様々な世界が煌めいているイメージで制作している。MaxやDAWで笙の音を加工し、さらにJitterで音に反応して映像が生成されるプログラムを作り制作した映像音響作品。

タイトルは、Tove Janssonの小説「Comet in Moominland」より「”I just want to show you a cleft with garnets in it,”said Snufkin. “It’s not as beautiful as it can be, of course, in this dull light, but when the sun shines you ought to see it glittering.”」の一節より付けている。

### Remorse

2021年12月13日に各種ストリーミングサービスでデジタルリリースした作品のMV。

映画のために制作しており、変えることができない過去への後悔と行き場のない怒りのような感情に焦点を当てた作品。

Composer

**石川 泰昭** Yasuaki ISHIKAWA

---

作曲家。愛知県立芸術大学作曲専攻卒業、同大学院修了。

名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、椛山女学園大学、各非常勤講師。

自主制作映画、舞台、CMなど映像に合わせた音楽や、ピアノ、弦楽器、電子音が混ざったポストクラシカル系な音楽を制作している。「盲目の魚」が、第21回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門新人賞。「しずくのことば」が、第19回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門審査員推薦作品。オノマトペで作られた理想郷というコンセプトの1st Album「onomatopia」を発売。フランス、イタリア、オーストリア、メキシコなど多数の海外芸術祭で作品が上映されている。CCMC2012佳作、Musiques a reaction3.2（フランス・パリ）で上演、国際音楽祭 FUTURA上演（フランス・クレスト）、フランス国営放送でOA、AAC2011海外推薦作品選出。堂本光一主演ミュージカルEndless SHOCK 2019音楽制作。手塚葵がヴォーカルのSNGOの編曲。鉄拳のパラパラ漫画のアニメーション「誓い」の音楽作曲。A.B.C-Z主演のジャニーズのミュージカル「オレたち応援屋！！On Stage」に楽曲提供。

<https://www.yasuakiishikawa.com>

## 3. Les éléments

音楽が持つ観念的な空間性（音程や音価、調関係）、さらに演奏者が体感する実存的な空間性（ピアノの場合は鍵盤の左右と音高の関係など）を聴衆と共有したいという狙いに基づいて作曲した。

ピアノパートの中心となるA音との音程距離とエレクトロニクスによるディレイの音像定位を関連させ、さらに音程の反転など観念的な空間移動も実存化させるなど、音像定位の構造を想定しながらピアノパートを構築している。

タイトルは古代ギリシャから今日まで広く知られる概念である四大元素、火・風・水・土それぞれの性質や相互関係をコンセプトとしたことに由来する。

Composer, Pianist

**神原 颯大** Soudai KANBARA

---

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校ピアノ科、東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、現在同大学大学院音楽研究科修士課程作曲専攻2年在学中（3月修了予定）。

第24回彩の国・埼玉ピアノコンクール高校生部門金賞、埼玉新聞社賞。第9回ロザリオ・マルチアーノ国際ピアノコンクール（ウィーン）課題曲特別賞。第20回日本演奏家コンクール大学生部門第2位。第14回現代音楽演奏コンクール“競楽XIV”第3位。

作編曲、伴奏、自作曲を含んだソロ・室内楽の演奏活動など、活動は多岐にわたる。特に現代音楽の演奏が高く評価され、これまでに国内外で50曲以上の新作初演に携わる。2021年3月に4回にわたるソロ・デビューリサイタルを開催。

作曲を小鍛冶邦隆、ピアノを中井正子、松山元の各氏に師事。

## 4. The Busker

2016年の夏、瀬戸内国際芸術祭の関連イベントで、香川県の女木島を訪れた際、加藤氏と知り合い、音楽談義を交わして意気投合していく中で、特に氏の音楽感、多様な音楽スタイルに対して柔軟で、高い好奇心を寄せている姿が印象的でした。“The Busker”はそんな加藤氏のキャラクターを1人のストリート・ミュージシャンに投影した作品です。サクソフォン・プレーヤー加藤和也がサクソ1本持って、ヨーロッパやアメリカの街頭、駅の構内に立ったら、どんなパフォーマンスをするのか楽しみです。

Composer

**岩本 渡** Wataru IWAMOTO

---

愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻及び同大学院修了。第50回日本音楽コンクール作曲部門第1位。

日中友好交歓特別演奏会で管弦楽作品を発表。以降、愛知「わかしゃち国体」の競技用音楽、入場行進曲の作曲、三菱自動車、ミサワホーム、JTBなど大手企業のプロモーション映像の音楽、フィギュアスケート本田武司の競技用音楽の編曲、NHK BS番組のテーマ音楽、「愛・地球博」EXPOドーム映像コンテンツの音楽や劇場版アニメ「ボトムズ・ファインダー」のサウンド・トラックを手がける。「第120回ダーレム音楽の夕べ」（ドイツ）、CMMAS主催「現代音楽コンサート」（メキシコ）、国際コンピュータ音楽会議ICMC-SMC2014（ギリシャ）入選、瀬戸内国際芸術祭、愛知県立芸術大学創立50周年記念演奏会で、エレクトロニクスや映像を取り入れた作品を発表。女性合唱のための「女の愛と生涯」や金管バンド曲集「JBクラブ」などの編曲出版。また、キーボード奏者としても幅広く音楽活動を行う。

現在、名古屋芸術大学教授、愛知県立芸術大学非常勤講師。

Saxophonist

**加藤 和也** Kazuya KATO

---

デンマーク政府奨学金を授与され渡欧。デンマーク王立ユラン音楽院大学院ソリストクラス修了。ユラン音楽院にてティーチングアシスタントを務めた後に帰国。帰国後は瀬戸内国際芸術祭への参加、広島を中心に東京、デンマーク、ニューヨークにてリサイタルを行う他、愛知県立芸術大学芸術講座、デンマーク王立ユラン音楽院にてマスタークラス・ワークショップで講師を務めた。

現在は演奏活動を始め、サクソフォンの為の新しい作品の委嘱・演奏、ポップス、アルゼンチンタンゴ、ダンス、曲芸師など他ジャンルのアーティストとの活動、美術館やギャラリーでの演奏会の企画、楽曲制作、音を扱った作品を制作するなど活動は多岐にわたる。

<https://kazuya-saxo.wixsite.com/kazuya>

## 5. Fiction II

Composer

**原田 裕貴** Yuki HARADA

---

名古屋芸術大学大学院音楽研究科修了。

在学中より映画、テレビ、舞台、ゲーム、アニメーション、CM等の音楽制作に携わる。主な作品は、映画『ヒノイリの風』、CBCテレビ開局60周年記念番組『伊勢神宮・命あふるる神々の森 五十鈴川を行く』、ドキュメンタリー『家族記念日～写真家・浅田政志の世界』、ドラマ『こんなところに運命の人』『金の殿』、ジェイアール名古屋タカシマヤ『Amour du chocolat!』、アニメーション『GOLDING 第1章 ～透明人間の殺戮～』、ゲーム『アークライズファンタジア』等。

2013年、メキシコのモレリア市で行われた「VISIONES SONORAS」において、映像とのコラボレーション作品を発表。2015年には、ニューヨークで笙とエレクトロニクスのための作品が演奏された。また、過去には坂本龍一氏がナビゲーターを務めるラジオ番組「RADIO SAKAMOTO」でオーケストラ作品や室内楽作品が紹介されている。

名古屋芸術大学講師。

<http://yukiharada.com>

## 6. Instan'stillation fixed media ver.

Composer

**生島 安希子 Akiko USHIJIMA**

---

作曲家。愛知県立芸術大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。ハーグ王立音楽院作曲専攻修士課程修了。

主に室内楽作品、ミクストメディア作品の制作、映像作家とのコラボレーションを行う。

作品はノヴェンバーミュージックフェスティバル（オランダ）、アルスムジカ音楽祭（ベルギー）、Focus現代音楽祭（ニューヨーク）、マサチューセッツ現代美術館でのコンサート、ボンクリ・フェスティバル（東京）他、ドイツ、オーストリア、ロシアにて Bang on a Can アンサンブルやアンサンブル・ノマドなどにより演奏されている。

コントラベースリコーダーとエレクトロニクスのための《Instan'stillation》はオランダのラジオで紹介、作品が収録されたCDがオランダのレーベル Karnatic Lab Records より発売され、2020年にイギリスのラジオ番組、Resonance Extraでも紹介される。2020年7月には音楽家の坂本龍一のラジオ番組 RADIO SAKAMOTOにて《Distorted Melody》が放送される。

フォスターミュージックからサクソフォン二重奏のための《彩雲 -iridescent clouds-》、サクソフォン四重奏のための《2人でお茶を》（編曲作品）が出版。

第六回JFC作曲賞入選、Excellence Composition Competition (Expert Level) 2011、ICMC 2013,2014、MUSICA NOVA2014、CCMC2016で入選。2011年野村財団奨学生。

日本著作権協会、先端芸術創作学会会員。

## 7. Foodchain ver.3

Composer

**水野 みか子 Mikako MIZUNO**

---

作曲と音楽学の方野で活動。作曲作品は電子音響音楽、室内楽、管弦楽など国内外の音楽祭や劇場で多数演奏されている。最近では、ICMC2017/2018/2019、NIME2021、ACMP2018 /2019、WeiWuYing台湾国立芸術センター開館記念演奏会への出演（2018）のほか、ランス・アヴァンギャルド祭(2019)、北京Musicacoustica、あいちトリエンナーレ公募公演企画・参加（2013/2019）、セントラル愛知交響楽団委嘱初演、「東アジアの電子音響音楽」（英語、共著2019）と「Music/Technology」（英語、共著2020）の出版などがある。

2016年ソルボンヌ大学客員研究員。

近作に、《調律の異なる2台ピアノとネットワークのためのDiastema》（2020）、管弦楽のための《Milford Pond》（2019）、《Parva naturalia》（2021）、笙とチェロのための《紺碧水のむこうがわ》（2021）、iannixプログラムのための《Trace the City》（2019）など。

日本電子音楽協会会長、名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授。

Pianist

**堀 夏紀 Natsuki HORI**

---

名古屋市菊里高等学校音楽科卒業。その後、渡米。シカゴ芸術大学音楽学部ピアノ科卒業。インディアナ大学音楽学部大学院修士課程修了。帰国後、パリ・エコールノルマル音楽院ディプロム取得、名古屋芸術大学大学院研究科修了。

在米中にはシカゴ大使館、文化会館等の演奏会に出演。シカゴ交響楽団奏者、カラマズー交響楽団奏者と共演。ペルー音楽祭にてアシュドット交響楽団と共演。2014年（公社）日本演奏連盟主催によるソロ・リサイタルを開催。その他、名古屋市守山文化小劇場ランチコンサート、メナード美術館「プレイエル」の小さなコンサート、宗次ホール「大人の音楽学校 19 時間目伊福部昭の世界」等出演。2021年2月には「アフタヌーン・ピアノリサイタル」を名古屋市緑文化小劇場にて開催。また近年においては、地元小学校との連携プロジェクトや市民講座の講師も務める。

現在、名古屋女子大学短期大学部非常勤講師、（公社）日本演奏連盟会員。

## 8. Sparkling in the Space X

Composer

**田中 範康** Noriyasu TANAKA

---

東京生まれ。国立音楽大学附属高等学校を経て、国立音楽大学作曲科並びに器楽科(オルガン専攻)卒業。作品は、NHK-FM、アメリカ、韓国などの放送メディアや、国内はもとより、ドイツ、オーストリア、フランス、北欧、ベルギー、韓国、アメリカ、メキシコの音楽祭などで、著名なアーティストの演奏により広く紹介されている。

オーストリアのVienna Modern Mastersレーベルから室内楽作品集「Noriyasu Tanaka: Chamber Music」として、1994年にVol.I、2002年にVol.IIの2枚のアルバムがそれぞれリリースされている。2011年には、2002年より2009年までに発表された作品の中から、代表的な室内楽作品を収録したアルバム「田中範康作品集」(ALCD-87朝日新聞推薦盤)が、2011年2月にALM RECORDSよりCDリリースされ、収録曲の《Twilight》、《Air》などが同時期にマザーアースより楽譜出版された。最新作は、2014年11月発売「田中範康作品集II [音の情景]」オーソドックスな編成の作品だけではなく、エレクトロニクスを加えた作品、さらに雅楽によるトリオ作品などを、国内とベルリンで録音した。

現在、名古屋芸術大学、同大学院音楽研究科教授。日本現代音楽協会会員、日本作曲家協議会会員、日口音楽家協会会員。

Flutist

**橋本 岳人** Takehito HASHIMOTO

---

桐朋学園大学を経て同大学研究科修了。大学にて野口龍、Pマイゼンの各氏に師事。

びわ湖国際フルートコンクール、1998年及び2001年日本音楽コンクール他で入賞入選。イタリア、ギジアーナ音楽祭にてディプロマ賞受賞。文化庁在外芸術家研修員に選出されパリに留学。M・モラゲス、V・リュカ両氏に師事。ニース、シエナに於いてA・ニコレ、E・パユ他のマスタークラスを修了。

ソリストとして名古屋フィル、千葉響、東京シティ・フィル、ロイヤル・メトロポリタン管、愛知室内他と共演。首席客演奏者としても国内主要オーケストラから招聘されている。

名古屋フィルハーモニー交響楽団首席フルート奏者を経て愛知県立芸術大学准教授、名古屋音楽大学講師、日本フルート協会理事。

Cellist

**高木 俊彰** Toshiaki TAKAGI

---

東京藝術大学音楽学部卒業。卒業時に同声会賞を受賞。在学中、奨学生としてパリ・エコール・ノルマル音楽院にて研鑽を積み、ディプロマを取得。チェロを林良一、河野文昭、アラン・ムニエの各氏に師事。

第3回大阪国際音楽コンクール第3位。第2回ブルクハルト国際音楽コンクール第1位。ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール第3位。

これまでに、室内楽集団アンディアーモのメンバーとしてブラームス室内楽全曲演奏会を完遂し、2019年度名古屋音楽ペンクラブ賞を受賞。

また、名古屋市立菊里高等学校音楽科非常勤講師として後進の指導にもあたり、岐阜国際音楽祭コンクール、全日本学生音楽コンクールの審査員も務める。

現在、室内楽集団レーバインムジークのチェリストとしてフォーレやシューマンの室内楽全曲演奏会を開催するなど活動を展開。2022年11月と12月にはベートーヴェンチェロ作品全曲演奏会(全二回)を開催予定。